

令和3年2月9日
子ども・若者部児童課

羽根木プレーパークリーダーハウスの整備について

1. 主旨

老朽化の進行した羽根木プレーパークの外遊びの拠点の施設であるリーダーハウスについて、子どもたちの声を反映した施設とするとともに、関係所管と調整のうえ、川場村交流40周年事業の一つとして位置付け、整備を実施する。

2. 現状と課題

羽根木公園のプレーパークは、昭和54年区の国際児童年記念事業として、区と地域住民とで開設した。リーダーハウスは、プレーパークの外遊びの拠点として機能しており、子どもがけがをした際の応急対応や利用者の相談の場として活用するなど、重要な役割を果たしている。羽根木公園のリーダーハウスは築29年が経過し老朽化が進んでおり、安全を確保するため頻繁に修理が必要となるなど、大きい負担となっている。子どもたちの外遊びをより一層推進するため、新たな拠点の整備が必要となっている。

3. 羽根木リーダーハウス整備事業について

(1) 子どもの声を反映するワークショップの開催

羽根木公園のリーダーハウスとして、子どもの意見を反映した施設を整備するため、ワークショップを開催し、子どもの声を施設に反映できる機会を設け、様々なアイデアを盛り込んだ構想モデルを作成する。

(2) 川場村交流40周年事業への位置づけ

- ① 移動教室など子どもたちとも縁の深い川場村と世田谷区との交流40周年事業の一つとして位置づけ、リーダーハウスの部材の一部に、川場産木材を活用する。
- ② 令和3年度開催予定の記念式典において、完成図を映写するなど、お披露目の場とする。ワークショップに参加した、子どもたちに式典で新しいリーダーハウスについて、発表する機会を設ける。

4. 経費概算

総額：約11,400千円

(設計費 工事費 委託料 印刷製本費 等)

5. 今後のスケジュール（予定）

令和3年	4月～6月	ワークショップの実施
	10月～令和4年3月	設計及び工事
令和4年	3月	竣工

(羽根木公園内プレーパークリーダーハウス配置図)

